

# 府民利用施設調書

## 目次

番号	頁	対象施設	設置年度	区分	公募 ／ 非公募	前回 検証 結果	現地 調査 対象
①	1	ゼミナールハウス	S51	指定管理	公募	要改善	○
②	2	文化芸術会館	S45	指定管理		要改善	○
③	3	京都学・歴彩館	H28	直営・ 指定管理 (※)		見直し	○
④	5	青少年海洋センター	S57	指定管理		要改善	○
⑤	6	けいはんなオープン イノベーションセンター	H26	普通財産 無償貸付		継続	○

※ 京都学・歴彩館は令和2年度から一部業務に指定管理を導入

府民利用施設調書

令和4年4月1日現在

施設名		京都府立ゼミナールハウス					
施設概要	所在地	京都市右京区京北下中町鳥谷2		設置年度	昭和51年度		
	設置目的	京都における学問及び文化の発展に寄与するため					
	経過	H22.3 京都府生涯学習審議会が生涯学習拠点施設に指定。H24.12～26.3 本館・別館の耐震工事、別館浴室棟整備					
	施設機能	主要設備			主な利用料金(条例上限額)		
		研修室	本館ゼミ室(20名)3室		大学・専門学校 5,400円/日 一般 8,000円/日		
		研修室	1号ゼミ室(40名)		大学・専門学校 20,700円/日 一般 28,900円/日		
		研修室	2号ゼミ室(64名)		大学・専門学校 30,700円/日 一般 43,100円/日		
		研修室	総合ゼミ室(ホール 約200名) 別館1階広間(約40畳) 別館2階広間(約60畳)		(各収容人数による料金体系)		
		宿泊室	コテージ風のユニットハウス(2人・7人、9人室)		2名以上1室 一般 2,750円 大学・専門学校 1,800円 高校 1,500円 小・中 900円		
	宿泊室	シングル・ツインルーム (宿泊定員147名)		シングル 一般 3,050円 大学・専門学校 2,000円 高校 1,600円 小・中 1,000円			
施設構造種別	鉄筋コンクリート		延床面積	4,273.57 m <sup>2</sup>			
交通アクセス	国道162号・福王子から約40分(30km)、京都縦貫道・園部インターから車で約30分(25km)、西日本JRバス・ふるさと公社バス乗り継ぎ、西日本JRバス・周山バス停から無料送迎、4名以上・BBQ等でJR二条駅西口から無料送迎						
営業時間・営業日	営業時間 8:00～22:45(府規則 9:30～21:30) チェックイン16:30/チェックアウト9:30		休館日	1月・2月の第3日曜日(府規則 毎月第3日曜) 年末年始(12月28日～1月4日)			
指定管理者制度の導入施設の場合、その管理者	一般財団法人京都ゼミナールハウス						
指定期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日		所在地	京都市右京区京北下中町鳥谷2			
選定方法	公募		業種	ゼミナールハウスの運営			
収支と人員配置	収支実績 (単位:千円)	指定管理 (施設運営)業務	年度	R元	R2	R3	R4予算
			支出合計	91,873	81,044	89,367	98,200
			人件費	54,321	49,698	46,799	53,650
			物件費	37,552	31,346	42,568	44,550
			収入合計	89,077	96,265	93,529	98,200
			利用料金収入	26,088	4,372	6,379	36,200
			その他収入	90	4,494	16,551	0
			府支出額 (一般財源)	62,899	87,399	70,599	62,000
			収支	▲ 2,796	15,221	4,162	0
			備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2・3年度の利用料金収入は、新型コロナウイルスによるキャンセル等で激減。</li> <li>令和2・3年度のその他収入は、雇用調整・緊急雇用安定助成金、持続化給付金等。</li> <li>令和2・3年度の府支出額には、コロナキャンセル等に係る府負担金を含む。 (②25,039千円、③8,458千円)</li> <li>R3その他収入の増額分については、観光庁委託料9,000千円の増加</li> <li>令和4年度予算は、指定管理3カ年計画の令和4年度分を計上。</li> </ul>			
	自主事業	支出合計	52,061	32,348	33,838	68,380	
		人件費	22,040	21,492	20,060	25,000	
		物件費	30,021	10,856	13,778	43,380	
		収入合計	45,491	23,738	39,640	65,200	
		利用料金収入	45,212	10,072	12,766	65,000	
その他収入		279	13,666	26,874	200		
収支	▲ 6,570	▲ 8,610	5,802	▲ 3,180			
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿泊者等への給食事業並びに文化・生涯学習事業を実施。</li> <li>令和2・3年度の利用料金収入は新型コロナウイルスによるキャンセル等で給食事業収入が激減。</li> <li>令和2・3年度のその他収入は、コロナキャンセル等に係る府負担金(②8,876千円、③12,096千円)、雇用調整・緊急雇用安定助成金、飲食業に係る営業自粛協力金等。</li> <li>令和4年度予算は、上記と同様。</li> </ul>						
人員配置 (単位:人)	役職員数	計	2	2	0	0	
		常勤	2	2	0	0	
		非常勤	28	0	15	1	
		計	30	2	15	1	
うち府派遣	0	0	0	0			
施設建設時の財源内訳 (単位:千円)	建設費 901,150千円 (うち府費 901,150千円、国庫補助 千円)						
利用状況	利用者数	R元年度	37,269人 (うち宿泊者数 9,989人)	主要設備 利用率 (令和3年度)	宿泊室	10.8%	
		R2年度	6,374人 (うち宿泊者数 1,580人)		研修室	8.2%	
		R3年度	7,950人 (うち宿泊者数 2,143人)			%	
	ピーク時	平成3年度 47,276人(うち宿泊者数 28,909人)	利用率 算出方法	年間利用室数/年間利用可能室数			
利用者の特徴	地域性	<宿泊者>京都市内8割、近畿1割、その他1割 <日帰り>京都市をはじめとした京都市内		年齢層	<宿泊者>学生6割(うち大学3割) 社会人4割 <日帰り>ほとんどが社会人		
	用途	<宿泊者>ゼミ等、学習合宿、仕事、観光ほか <日帰り>展示見学、会議、会食ほか		その他 (時期等)	大学生を中心に3～5月、7～9月が多くピークは8月。		
コスト負担	府負担コスト (令和3年度)	利用者1人あたりコスト (府支出額/利用者数)	8,880円	府負担割合 (府支出額/収入総額)	75.5%		
	延床面積コスト (令和3年度)	1mあたりコスト (指定管理支出計/延床面積)	20,912円				
	今後5年以内の建替え 耐震補強大規模修繕等 建替え等の 実施時期(見込)	必要性(有無)	内容・見込額 (単位:百万円)				
主な代替・類似施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花脊山の家……………京都市野外活動施設、京都市直営、(1泊)小・中生550円、高校生1,650円、その他3,450円(4年6月料金改定後)</li> <li>・美山自然文化村「河鹿荘」…運営:美山ふるさと(株)、(1泊)4歳～小学生6,050円、中学生～8,800円</li> <li>・宇治市総合野外活動センター…運営:(公財)宇治市野外活動センター、(1泊)4歳～740円、小・中生920円、高校生1,560円、大人3,120円</li> <li>・府立青少年海洋センター…運営:(公財)京都府青少年育成協会、(1泊)小学生710円、中学生910円、高校生1,220円、一般2,340円</li> <li>・府立丹波自然運動公園…運営:(公財)京都府立丹波自然公園協会、(1泊)小中生710円、高校生1,220円、大学生2,750円、一般3,160円</li> </ul>						

府民利用施設調書

令和4年4月1日現在

②

施設名		京都府立文化芸術会館								
施設概要	所在地	京都市上京区河原町通広小路下ル東桜町1番地	設置年度	昭和45年度						
	設置目的	文化芸術を愛する人々に発表と交流の場を提供し、京都における文化芸術の創造活動に寄与することを目的に設置。								
	経過	平成13年度 屋根、外壁、展示室内装、舞台床、迫り機構、衛生、空調、電気設備改修工事及び車椅子用トイレ、車椅子用リフト、エレベーター設置工事								
	施設機能	主要設備		主な利用料金(条例上限額)						
		ホール	固定席419席 車椅子ブロック3	全日 76,700円(平日) 96,000円(土日祝)						
		展示室	3室(1階、2階、3階(和室))	1階16,000円 2階11,200円 3階19,900円 (10:00~18:00)						
	施設構造種別	鉄筋コンクリート	延床面積	4,388.02 m <sup>2</sup>						
交通アクセス	市バス4系統・17系統・205系統にて「府立医大病院前」下車スグ前(JR京都駅から所用時間約25分) 京阪神宮丸太町駅・出町柳駅から徒歩12分。									
営業時間・営業日	営業時間	ホール・会議室 9:00~21:30 展示室 10:00~18:00	休館日	12月28日~1月4日(年末・年始のみ)						
指定管理者制度の導入施設の場合、その管理者	公益財団法人京都文化財団・株式会社コングレ共同事業体									
	指定期間	令和2年4月1日~令和5年3月31日	所在地	京都市中京区高倉通三条上ル東片町623-1						
	選定方法	公募	業種	府立文化施設の運営						
収支と人員配置	収支実績 (単位:千円)	指定管理 (施設運営)業務	年度	R元	R2	R3	R4予算			
			支出合計	122,044	116,070	124,814	127,986			
			人件費	61,046	57,499	62,719	61,172			
			物件費	60,997	58,571	62,095	66,814			
			収入合計	125,032	124,046	125,047	127,986			
			利用料金収入	46,947	29,564	42,840	54,567			
			その他収入	2,620	897	1,689	0			
			府支出額 (一般財源)	75,465	93,585	80,518	73,419			
			収支	2,988	7,976	233	0			
			備考	【R2】 ※指定管理料/73,879,000円 ※府支出額のうち、新型コロナウイルス感染症によるイベント中止等の対応に伴う施設使用料還付に係る府負担金 R2:19,706,297円、R3:6,948,545						
	人員配置 (単位:人)	自主事業	支出合計	5,211	5,884	12,160	9,400			
			人件費	0	0	0	0			
			物件費	5,211	5,884	12,160	9,400			
			収入合計	6,053	5,916	10,896	9,400			
			利用料金収入	0	0	0	0			
			その他収入	6,053	5,916	10,896	9,400			
			収支	842	32	▲1,264	0			
			備考	<令和3年度実績> 上方落語勉強会(4回)、桂八十八襲名披露公演(1回)、新春落語会(1回)、狂言五笑会(3回)、邦楽を楽しむ会(4回)、きょうと北部演劇まつり(1回)、イッセー尾形の妾ノ劇場(3回)、文楽京都公演(2回)、京都演劇フェスティバル(3日間)						
			役職員数	うち府派遣	計		正職員	嘱託職員	臨時職員	その他(コングレ)
					常勤	10	8	1	1	0
非常勤	1	0			0	1	0			
計	11	8			1	2	0			
うち府派遣	0	0	0	0	0	0				
施設建設時の財源内訳 (単位:千円)	建設費 357,600千円									
利用状況	利用者数	R元年度	150,151 人		主要設備 利用率 (令和3年度)	ホール	75.7%			
		R2年度	47,768 人			展示室	57.6%			
		R3年度	89,709 人				%			
	ピーク時	昭和 47 年度	367,822 人		利用率 算出方法	貸出日/貸出可能日				
	利用者の特徴	地域性	京都市内(約50%)及び京都府内(約10%)の他、近畿圏(大阪、滋賀)が多い。			年齢層	50歳代以上が約70%を占めている。			
用途	古典芸能(狂言、落語、文楽等)、演劇及びコンサート			その他 (時期等)						
コスト負担	府負担コスト (令和3年度)	利用者1人あたりコスト (府支出額/利用者数)	898 円		府負担割合 (府支出額/収入総額)	64.4 %				
	延床面積コスト (令和3年度)	1㎡あたりコスト (指定管理支出/延床面積)	28,444 円							
	今後5年以内の建替え、耐震補強、大規模修繕等	必要性(有無)	内容・見込額 (単位:百万円)		予定なし					
	建替え等の実施時期(見込)		内容・見込額 (単位:百万円)		予定なし					
主な代替・類似施設	京都府立府民ホールアルティ、ロームシアター京都(京都市営)、呉竹文化センター(京都市営)、京都芸術センター、(京都市営)、京都芸術劇場春秋座(民営)、KBSホール(民営)									

③

## 府民利用施設調書

令和4年4月1日現在

施設名		京都市立京都学・歴史館				
施設概要	所在地	京都市左京区下鴨半木町1番地29	設置年度	平成28年12月		
	設置目的	府民に京都の文化、歴史等に関する学習及び交流の場を提供するとともに、京都に関する資料等を収集し、保存し、及び公開することにより、京都における文化の発展及び学術の振興に資する。				
	経過	昭和38年設置の「京都市立総合資料館」の機能に新たに京都学研究の機能を加え、「京都市立京都学・歴史館」を設置。平成28年12月一部オープン、平成29年4月グランドオープン				
	施設機能	主要設備		主な利用料金(条例上限額)		
		大ホール	484席(含 車椅子3席)、控え室1室	午前:40,900円	午後:54,570円	夜間:61,400円
		小ホール	可動席100席	午前:15,300円	午後:20,400円	夜間:22,950円 (半面使用の場合、それぞれ7,650円、10,200円、11,420円)
		展示室	290㎡	—		
		ラウンジ	151㎡	—		
		学習室	160㎡ 44席	—		
		ほっとスペース	25席	—		
駐車場		31台	1台1回300円/時間 最大1,200円			
施設構造種別	鉄骨造	延床面積	23,940.68 m <sup>2</sup>			
交通アクセス	京都市営地下鉄烏丸線「北山駅」徒歩4分、京都市バス「府立大学前」徒歩6分					
営業時間・営業日	営業時間	9:00~21:00 (土日 9:00~17:00)	休館日	祝日、第2水曜日、12月28日~翌年1月4日、蔵書整理期間		
	指定管理者制度の導入施設の場合、その管理者	コングレ・日本管財・丸善雄松堂共同事業体(一部指定管理)				
指定管理者制度の導入施設の場合、その管理者	指定管理期間	令和2年4月1日~令和5年3月31日	所在地	東京都中央区日本橋3-10-5 オンワードパークビルディング		
	選定方法	公募	業種	施設運営管理		

施設全体							直営部分							指定管理部分																														
年度							年度							年度																														
H29							H30							R元							R2							R3							R4予算									
収支実績 (単位:千円)	直営・指定管理・施設運営業務	支出合計					758,300	745,373	715,817	685,213	675,268	696,316	支出合計					758,300	745,373	715,817	460,556	428,412	443,760	支出合計					758,300	745,373	715,817	224,657	246,856	252,556										
		人件費					409,648	414,272	406,347	388,823	386,177	382,758	人件費					409,648	414,272	406,347	305,595	301,589	300,778	人件費					409,648	414,272	406,347	84,588	84,588	81,980										
		物件費					348,652	331,101	309,470	296,390	289,091	313,558	物件費					348,652	331,101	309,470	154,961	126,823	142,982	物件費					348,652	331,101	309,470	141,429	162,268	170,576										
		収入合計					758,300	745,373	715,817	714,367	683,374	696,316	収入合計					758,300	745,373	715,817	460,556	428,412	443,760	収入合計					758,300	745,373	715,817	253,811	254,962	252,556										
		利用料金収入					8,213	10,021	9,879	5,381	7,552	8,484	利用料金収入					8,213	10,021	9,879	145	93	84	利用料金収入					8,213	10,021	9,879	5,236	7,459	8,400										
		その他収入					39,807	34,133	34,376	21,083	15,761	16,587	その他収入					39,807	34,133	34,376	21,083	15,761	16,587	その他収入					39,807	34,133	34,376	0	0	0										
		府支出額(一般財源)					710,280	701,219	671,562	687,903	660,061	671,245	府支出額(一般財源)					710,280	701,219	671,562	439,328	412,558	427,089	府支出額(一般財源)					710,280	701,219	671,562	248,575	247,503	244,156										
		収支					0	0	0	29,154	8,106	0	収支					0	0	0	0	0	0	収支					0	0	0	29,154	8,106	0										
		備考										備考					*利用料金収入は、保存資料等の利用料(令和2年度以前はホール利用料、駐車場料金、複写料金等含む) *その他収入は、解説文書売り払いと広報チラシの広告掲載料と重文修理の国庫補助金、館全体のシステム経費に係る収入*府大の負担金(R1:11,366 R2:14,018 R3:13,207)					備考					*新型コロナウイルス感染症による休館や時短などの影響により、収入・支出ともに減 *先般水質の大増減による収支差額 *館全体館内4階の建物や設備に関する管理運営を行っている為、修繕費の増減有 *複写サービスが令和2年度6,414件、令和3年度6,007件であり、年により増減有 *コロナ負担金 R2:244千円 R3:109千円を府支出額に含む																	
		収支と人員配置	自主事業	支出合計								1,052	4,130	1,408	支出合計								1,052	4,130	1,408	支出合計								1,052	4,130	1,408								
人件費								15	30	220	人件費								15	30	220	人件費								15	30	220												
物件費								1,037	4,100	1,186	物件費								1,037	4,100	1,186	物件費								1,037	4,100	1,186												
収入合計								402	2,554	1,577	収入合計								402	2,554	1,577	収入合計								402	2,554	1,577												
利用料金収入								222	2,163	1,577	利用料金収入								222	2,163	1,577	利用料金収入								222	2,163	1,577												
その他収入								180	391	0	その他収入								180	391	0	その他収入								180	391	0												
収支								▲650	▲1,576	171	収支								▲650	▲1,576	171	収支								▲650	▲1,576	171												
備考										備考					*R3年度は年間約65回の自主事業を開催 *これまでの歴史館の利用者層とは異なる幅広い層をターゲットに開催 ①「リアル謎解きゲーム」(追われし京の歴史)R3.11月～R4.4月 学校・学年単位や旅行会社からの申し込みなど、これまでに歴史館に来館したことのない参加者の割合が非常に高く、WEBや取組で知り参加するなど認知度向上に繋がっている(未だ延期開催が決定、(R4年4月20日現在約2,500人が参加。) 【謎を特定している北山街の店舗様の声】 「喫茶店へお越しに当たり、多くがコーヒーを飲みながら閑を傾くなど売り上げに繋がっている」「夜更店へお越しに当たり、多くが参加者が多いと思わなかった。店を閉めし店名を呼んでくれてうれし」「貸衣装・参加者の多さに驚いている。値が降るくなった。」 「美容院・店の看板に多くの人が集まり驚いた。楽し気に問題にチャレンジされている」 ②彩市(地元店舗やキッチンカーの出店) 地元のパン屋、こだわり野菜の販売などを実施し地域住民や学生が多く来館。 ③下鴨中道ブティック(京都の書店15店舗・近畿大学と歴史館をマッピング) 歴史館と隣接するフロアを有効活用し歴史館と親和性のある本をテーマにイベント開催 ④親子、子ども向け講座(子どもカレッジ、知育ヨガ) 子どもカレッジ恐竜博物館(福井)、大和ミュージアム(広島)、漢字ミュージアム(京都)、神戸青少年科学館(兵庫)など各専門家を招いたイベントを開催。 ⑤各種ワークショップ *唐紙職人かみ添え・手仕事ワークショップ・写真の編集・地元出版社とコラボ ⑥紙鶴会(米朝事務所)、怪談話、セミナー等の京都にまつわる講演会などを多数開催 ⑦その他SDGsの勉強会「SDGsってなんだ?」など、様々なセミナーを開催 ⑧大阪の大学とPBL(問題解決型授業)で歴史館をテーマに授業を実施。学生が現地視察し熟考を重ね、学生から見た歴史館イベントを企画立案 自主事業が指定管理者だけの取組にならないように、都度、閲覧室や展示室の案内を行うなど館全体としての取組となるよう推進。																													
人員配置(単位:人)					計	正職員	嘱託職員	臨時職員	その他( )	16	人員配置(単位:人)					計	正職員	嘱託職員	臨時職員	その他( )	1	人員配置(単位:人)					計	正職員	嘱託職員	臨時職員	その他( )	0												
役職員数					常勤	67	49	2	0	0	2	役職員数					常勤	50	34	0	0	0	2	役職員数					常勤	17	15	2	0	0										
うち府派遣					非常勤	2	0	0	0	2	うち府派遣					非常勤	2	0	0	0	2	うち府派遣					非常勤	0	0	0	0	0												
計					69	49	2	0	0	18	計					52	34	0	0	0	18	計					17	15	2	0	0													
うち府派遣					0	0	0	0	0	0	うち府派遣					0	0	0	0	0	0	うち府派遣					0	0	0	0	0													
施設建設時の財源内訳(単位:千円)					建設費 千円 (うち府費 千円、国庫補助 千円)																																							
利用者数	利用状況	H29年度	213,911 人		ピーク時	令和元年度	263,550 人		利用者数					H29年度	213,911 人		ピーク時	令和元年度	263,550 人		利用者数					H29年度	213,911 人		ピーク時	令和元年度	263,550 人													
		H30年度	262,722 人		主要設備利用率(令和3年度)	%		利用者数					H30年度	262,722 人		主要設備利用率(令和3年度)	%		利用者数					H30年度	262,722 人		主要設備利用率(令和3年度)	%		利用者数														
		R元年度	263,550 人		主要設備利用率(令和3年度)	%		利用者数					R元年度	263,550 人		主要設備利用率(令和3年度)	%		利用者数					R元年度	263,550 人		主要設備利用率(令和3年度)	%		利用者数														
		R2年度	67,895 人		利用率算出方法	%		利用者数					R2年度	67,895 人		利用率算出方法	%		利用者数					R2年度	67,895 人		利用率算出方法	%		利用者数														
		R3年度	103,902 人		利用率算出方法	%		利用者数					R3年度	103,902 人		利用率算出方法	%		利用者数					R3年度	103,902 人		利用率算出方法	%		利用者数														
		地域性					年齢層	利用者の特徴					地域性					年齢層	利用者の特徴					地域性					年齢層	利用者の特徴														
		用途					その他(時期等)	利用者の特徴					用途					その他(時期等)	利用者の特徴					用途					その他(時期等)	利用者の特徴														
		府負担コスト(令和3年度)					利用者1人あたりコスト(府支出額/利用者数)	6,353 円		府負担割合(府支出額/収入総額)	96.6 %		コスト負担					府負担コスト(令和3年度)					利用者1人あたりコスト(府支出額/利用者数)	5,015 円		府負担割合(府支出額/収入総額)	96.3 %		コスト負担					府負担コスト(令和3年度)					利用者1人あたりコスト(府支出額/利用者数)	11,437 円		府負担割合(府支出額/収入総額)	97.1 %	
		延床面積コスト(令和3年度)					1㎡あたりコスト(施設運営支出計/延床面積)	28,206 円		コスト負担					延床面積コスト(令和3年度)					1㎡あたりコスト(施設運営支出計/延床面積)	17,895 円		コスト負担					延床面積コスト(令和3年度)					1㎡あたりコスト(施設運営支出計/延床面積)	10,311 円		コスト負担								
		必要(有)無					内容・見込額(単位:百万円)			コスト負担					必要(有)無					内容・見込額(単位:百万円)			コスト負担					必要(有)無					内容・見込額(単位:百万円)			コスト負担								
年頃					内容・見込額(単位:百万円)			コスト負担					年頃					内容・見込額(単位:百万円)			コスト負担					年頃					内容・見込額(単位:百万円)			コスト負担										
主な代替・類似施設					府内及び近隣府県においても、資料館、医大、府大の資料図書館を有しており、一体的に学びの提供のできる施設はなく、唯一性がある施設である。					主な代替・類似施設					府内及び近隣府県においても、資料館、医大、府大の資料図書館を有しており、一体的に学びの提供のできる施設はなく、唯一性がある施設である。					主な代替・類似施設					府内及び近隣府県においても、資料館、医大、府大の資料図書館を有しており、一体的に学びの提供のできる施設はなく、唯一性がある施設である。																			

施設名		京都府立青少年海洋センター							
施設概要	所在地	京都府宮津市宇田井小字大池382				設置年度 昭和57年度			
	設置目的	青少年に、海洋活動を通じて心身を鍛練する場を提供し、その健全な育成に寄与する。							
	経過	H15 フィールドアスレチック全面改修(45,149千円) H27 トイレ洋式化(14,349千円)、研修棟屋上防水改修(25,259千円)、貯湯槽改修(7,452千円)、 宿泊棟リフト室洋室化(1,966千円)、防災用発電機更新(10,616千円) H29 野外炊事施設整備、海の科学館改修(ボルダリング場・トレーニング場整備、階段昇降機改修)、 蓄電池更新、耐震診断、カッター1隻増設(3→4隻)、救助艇更新 他(112,256千円) R2 研修棟空調設備改修、受変電設備改修、給水設備改修(137,577千円)							
		主要設備			主な利用料金(条例上限額)				
	講堂	メモ台付き椅子180席 長机約150名			小中高 全日 7,440円 午前 2,340円 午後 2,950円 夜間 2,950円 一般 全日 14,890円 午前 4,690円 午後 5,910円 夜間 5,910円				
	研修室	第1、2 約40名			小中高 全日 3,060円 午前 910円 午後 1,220円 夜間 1,220円 一般 全日 6,120円 午前 1,830円 午後 2,440円 夜間 2,440円				
	研修室	第3、4 約20名			小中高 全日 2,040円 午前 610円 午後 810円 夜間 810円 一般 全日 4,080円 午前 1,220円 午後 1,630円 夜間 1,630円				
	宿泊室	57ブロック(研修室1~4号室10名 リフト室5名)/ブロック			小学 710円 中学 910円 高校 1,220円 一般 2,340円				
	その他	野外炊事施設			児童等 250円(団体は200円)、一般 440円(団体は360円)				
	その他	トレーニング場			児童等 150円(団体は120円)、一般 250円(団体は200円)				
その他	ボルダリング場			児童等 200円(団体は160円)、一般 350円(団体は280円)					
その他	フィールドアスレチックコース			児童等 200円(団体は160円)、一般 350円(団体は280円)					
施設構造種別	鉄筋コンクリート			延床面積	6,289.66 m <sup>2</sup>				
交通アクセス	宮津駅より車で約15分(路線バス 1日に片道2本運行)								
営業時間・営業日	営業時間	9:00~21:00			休館日	12月28日~1月4日。 毎月第1月曜日及び第3月曜日。(4月~9月は 休館日を設けない) ただし月曜日が祝日に当たるときは、その日後 においてその日に最も近い休日でない日			
	指定管理者制度の導入施設の場合、その管理者	公益社団法人京都府青少年育成協会							
指定期間	指定期間	平成30年4月1日~令和5年3月31日			所在地	京都市上京区出水通小路上東入丁子風呂 町104-2 京都府庁西別館3階			
	選定方法	公募			業種	青少年育成府民運動の推進			
収支と人員配置	収支実績 (単位:千円)	指定管理(施設運営)業務	年度	H29	H30	R元	R2	R3	R4予算
			支出合計	111,639	111,256	112,751	102,897	110,443	108,076
			人件費	46,523	47,888	48,550	48,379	50,066	40,538
			物件費	65,116	63,368	64,201	54,518	60,377	67,538
			収入合計	110,904	110,445	110,383	116,997	105,458	108,076
			利用料金収入	16,659	20,829	21,712	3,348	5,545	19,739
			その他収入	8,651	7,031	5,322	3,177	1,660	4,223
			府支出額 (一般財源)	85,594	82,585	83,349	110,472	98,253	84,114
			収支	▲ 735	▲ 811	▲ 2,368	14,100	▲ 4,985	0
			備考	R2、R3の府支出額には、指定管理料のほか、新型コロナウイルス感染症による施設利用収入の減に係る支援金 が含まれる(R2: 26,203千円、R3: 14,139千円)。 R4予算の人件費はR3に1名退職したことを考慮。 その他収入(食堂収入+物品売上収入+雑収入)					
	自主事業	支出合計	0	0	0	0	0	0	
		人件費							
		物件費							
		収入合計	0	0	0	0	0	0	
		利用料金収入							
その他収入									
備考	※チャレンジ漁業体験、親子で野外炊事、家族利用デー等の自主事業を実施 ※自主事業と一体的に決算を行っており、区分が困難								
人員配置 (単位:人)	役員員数	常勤	6	6	0	0	0		
		非常勤	3	0	3	0	0		
		計	9	6	3	0	0		
		うち府派遣	0	0	0	0	0		
施設建設時の財源内訳 (単位:千円)	建設費	2,039,604千円 (うち府費1,929,604千円、国庫補助110,000千円)							
	利用者数	H29年度	49,893 人			ピーク時	平成 7 年度 106,759 人		
利用状況	利用者の特徴	H30年度	62,585 人			主要設備 利用率 (令和3年度)	宿泊室	7.4%	
		R元年度	63,767 人				研修室	1.3%	
		R2年度	10,782 人			利用率 算出方法	年間利用数/年間利用可能数		
		R3年度	19,975 人			年齢層	小・中・高の利用が85% (R3年度)		
		用途	海洋体験学習			その他 (時期等)	4月~9月の利用が49% (R3年度)		
コスト負担	府負担コスト (令和3年度)	利用者1人あたりコスト (府支出額/利用者数)	4,919 円		府負担割合 (府支出額/収入総額)	93.2%			
	延床面積コスト (令和3年度)	1㎡あたりコスト (指定管理支出計/延床面積)	17,559 円						
	今後5年以内の建替え、耐震補強、大規模修繕等	必要性(有(無))	内容・見込額 (単位:百万円)		予定なし				
	建替え等の実施時期(見込)	年頃	内容・見込額 (単位:百万円)		予定なし				
主な代替・類似施設	りり溪少年自然の家(宿泊定員:300人)、国立若狭湾青少年自然の家(宿泊定員:300人)								

施設名		けいはんなオープンイノベーションセンター(略称:KICK(キック))							
施設概要	所在地	京都府木津川市木津川台9丁目6番 京都府相楽郡精華町精華台7丁目5番1			設置年度 平成26年度				
	設置目的	健康医療、エネルギー・ICT、農業・食糧、文化・教育が複合的に組み合わせられた社会システムであるスマートコミュニティ形成に係る共同研究等を集積し、イノベーション創出を強力に推進するための中核となる国際的なオープンイノベーション拠点							
	経過	H25.6.17「総合特別区域法の一部改正法案」成立(施行日:H25.6.21) H25.11.29 関西イノベーション国際戦略総合特区の事業計画認定(先端的研究開発推進施設整備事業) H26.3.31 国と府の議定書締結(H26.4.1 所有権が移転) H27.4.1(公財)京都産業21による管理運営 開始 H30.4.1(公財)京都産業21による管理運営 更新							
	施設機能	主要設備			主な利用料金(条例上限額)				
		ホール	500.63㎡、スクール形式200席			午前、午後28,960円、全日54,870円、土日祝・年末年始20%増			
		シアター	436.82㎡、120席			午前、午後24,780円、全日46,920円、土日祝・年末年始20%増			
		共用会議室	172.83㎡、スクール形式90席、2分割可			4,180円/時間 分割使用2,090円/時間、土日祝・年末年始50%増			
		ガイダンスルーム	51㎡~66㎡、5室			51㎡ 1,320円/時間 64㎡ 1,630円/時間 土日祝・年末年始20%増			
		KICKシェアードオフィス	104㎡、22席			7,650円/月(入会金10,200円)			
		けいはんなロボット技術センター	1,430㎡ ・モバイルロボットゾーンA 630㎡ ・モバイルロボットゾーンB 480㎡ ・モーションキャプチャーゾーン 160㎡ ・協調ロボットゾーン 160㎡			・モバイルロボットゾーンA 400円/時間 ・モバイルロボットゾーンB 300円/時間 ・モーションキャプチャーゾーン 1,220円/時間 ・協調ロボットゾーン 100円/時間 ※5G通信対応			
屋外実証	・Aエリア(5G通信対応) 4,161.6㎡ ・Bエリア 877.4㎡ ・Cエリア(ドローン飛行対応) 1,654.46㎡ ・Dエリア(周回) 8,495.65㎡			・Aエリア 午前、午後7,000円、全日14,000円 ・Bエリア 午前、午後1,500円、全日3,000円 ・Cエリア 午前、午後2,800円、全日5,600円 ・Dエリア(周回) 午前、午後14,350円、全日28,700円					
Fabスペース	基盤となるものづくりの機器の貸し出しスペース(3Dプリンター、CNCフライス、レーザー加工機)			・3Dプリンター 880円/時間 ・CNCフライス 1,100円/時間 ・レーザー加工機 880円/時間					
施設構造種別	鉄筋コンクリート・鉄骨造ステンレス鋼板葺陸屋根3階建			延床面積	35,827.37 ㎡				
交通アクセス	【電車及びバス】・近鉄京都線「新祝園駅」→奈良交通バス「公園東通り」下車 ・中央線・近鉄けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘駅」→奈良交通バス「公園東通り」下車 【自家用車】・京奈和自動車道「精華学研IC」より約3分								
営業時間・営業日	営業時間	原則、8:30~17:15(窓口時間)			休館日	原則、土曜日及び日曜日、祝日 年末年始(12月29日から1月3日)			
指定管理者制度の導入施設の場合、その管理者	公益財団法人京都産業21(普通財産無償貸付)								
	貸付期間	平成30年4月1日~令和5年3月31日		所在地	京都市下京区中堂寺町134				
	選定方法	公募		業種	同施設の管理運営及び事業実施団体				
収支と人員配置	収支実績(単位:千円)	指定管理(施設運営)業務	年度	H29	H30	R元	R2	R3	R4 予算
			支出合計	131,819	120,332	125,054	131,631	139,367	143,237
			人件費	9,306	8,907	8,767	9,641	9,522	9,000
			物件費	122,513	111,425	116,287	121,990	129,845	134,237
			収入合計	131,819	120,332	125,054	131,631	139,367	143,237
			利用料金収入	78,736	75,144	81,099	86,823	92,145	97,317
			その他収入	0	0	0	0	0	0
			府支出額(一般財源)	53,083	45,188	43,955	44,808	47,222	45,920
			収支	0	0	0	0	0	0
			備考	・令和3年度は新型コロナワクチン接種会場として会場提供のため、光熱費が増加(前年対比:8,325千円増) ・7名の人員には、KICK運営業務に加えて立地機関との連携等の企業支援業務の別予算で雇用される人員も含むため、人件費が約900万円と少額となる。 ・利用料金収入の増額は、新規入居や入居者の増床によるもの ・物件費の増額は利用面積増加分の光熱水費によるもの ・府支出額は、運営管理に必要な経費から利用料金収入見込額を差し引いた額を運営交付金として支出するもの					
人員配置(単位:人)	自主事業	支出合計	0	0	0	0	0	0	
		人件費							
		物件費							
		収入合計	3,285	2,485	3,124	3,116	3,104	0	
		利用料金収入	2,535	1,494	2,066	2,032	2,371		
		その他収入	750	991	1,058	1,084	733		
		収支	3,285	2,485	3,124	3,116	3,104	0	
		備考	・研究交流や連携促進のためのホール等貸館事業による収入 ・支出(人件費、物件費ともに)は施設運営と一体となった収支計算書を作成しているため自主事業分の切り分けが不可						
		役職員数	計	正職員	嘱託職員	臨時職員	その他( )		
		常勤	7	4	1	2	0		
非常勤	0	0	0	0	0				
計	7	4	1	2	0				
うち府派遣	0	0	0	0	0				
施設建設時の財源内訳(単位:千円)	厚生労働省から旧「私のしごと館」をH26.4.1に無償譲渡 ※建設当時(H14.10)総工費581億円(土地150億円、建設事業431億円) 財源は事業主負担による雇用保険料								
利用状況	利用者数	H29年度	78,105 人		ピーク時	令和元年度	85,730 人		
		H30年度	63,892 人			入居者(貸研究室等)	90.4%		
		R元年度	85,730 人				ホール・シアター・会議室等	24.7%	
		R2年度	57,929 人		主要設備利用率(令和3年度)	実証エリア		・55.3%	
		R3年度	62,125 人			利用率算出方法	・屋外実証エリア	・27.4%	
地域性	世界各国から学研地区の立地機関まで幅広い			年齢層	入居者は10代(学生)から60代までと幅広い				
利用者の特徴	用途	入居企業等の先端的な研究開発拠点や次世代ロボット技術等の開発・実証、次世代のものづくり・エンジニアの担い手等の人材育成セミナーなど			その他(時期等)	-			
コスト負担	府負担コスト(令和3年度)	利用者1人あたりコスト(府支出額/利用者数)	760 円		府負担割合(府支出額/収入総額)	33.9%			
	延床面積コスト(令和3年度)	1㎡あたりコスト(指定管理支出計/延床面積)	3,890 円						
	今後5年以内の建替え耐震補強大規模修繕等	必要性(有)無)	内容・見込額(単位:百万円)	・特定天井(吊り天井)脱落防止改修:205百万円					
	建替え等の実施時期(見込)	年頃	内容・見込額(単位:百万円)						
主な代替・類似施設	総合特別区域法の改正により、国有財産法・財政法の特例を受け厚生労働省から譲与された施設であり、関西イノベーション国際戦略総合特区で認定された指定用途に限定されるため、代替施設はない。								